



KANGO

P.11 教育研修課
認定看護管理者
教育過程



P.2-3 令和7年度
青森県看護協会
通常総会

青い森



P.7 プリセプター・
プリセプティ

木林



contents

- 青森県看護協会通常総会 p.02-03
- ナースセンターだより p.04-05
- 訪問看護の人材確保への取り組み p.06
- プリセプター・プリセプティの声 p.07
- 推薦委員会からのお知らせ p.07

- 事業課 研修報告 p.08-09
- 教育研修課 p.10-11
- 認定看護管理者教育過程研修変更について p.11
- 支部だより p.14-15
- 准看護師理事より p.16

広報出版委員会取材

令和7年度 青森県看護協会

通常総会 開催報告

(取材・広報出版委員／畠山・大坂)

川野会長からの挨拶



会場の様子



小谷副知事



中路
医師会副会長

表彰状・記念品の授与

式典では令和7年度青森県看護協会長表彰の方々が紹介され、受賞者を代表し天摩典子様に表彰状・記念品の授与の後、謝辞を述べられました。続いて日本看護協会長表彰を受賞された柾谷京子様のご紹介と花束贈呈が行われました。

令和7年度 青森県看護協会長表彰

代表 天摩典子様

この度は、青森県看護協会長表彰をいただき誠にありがとうございます。

受賞を心より感謝申し上げます。

この賞は、これまでご指導いただいた上司、諸先輩方、そして支援してくださった多くの仲間などの理解と協力のおかげと心から感謝申し上げます。

今後も人々の健康と生活を支援する看護職、一会员とて活動して参ります。



令和7年度 日本看護協会長表彰

柾谷京子様

この度は日本看護協会長表彰という栄誉を賜り、大変身に余る光栄なことと存じます。これまで支えてくれた皆様に深く感謝申しあげます。私はこれまで、臨床では地域に貢献すること、そして看護協会では社会課題にどう向き合うかを意識してきました。今、縮小しつつ発展する社会で、地域に看護を届けるために一層力を合わせるようエールを送ります。青森県の看護の発展を祈念すると同時に、この度の受賞に心からお礼を申しあげます。

おめでとう
ございます!



通常総会では会員7,727名、当日出席者246名、委任者6,010名、計6,256名の総会成立宣言の後、一戸とも子様の青森県看護協会名誉会員の推薦、青森県看護協会定款の改正等、全議案が可決となりました。最後に退任・新任役員の紹介があり、退任役員を代表して前田隆子氏、新任役員を代表して高林良子氏より、それぞれ挨拶があり、通常総会は閉会となりました。



令和7年度 名誉会員受賞

一戸とも子様

(青森中央学院大学看護学部)



「恩師・先輩の跡を追って、同僚に支えられて」

名誉会員に推薦頂き大変光栄に思っております。1972(S47)年3月に弘前大学の「特看」(通称)1期生として卒業後、3年間の臨床経験を経て長いこと看護教育に携わってきました。恩師と先輩の跡を追い、同僚の支え、家族の協力があってここまで歩んで来られたと深く感謝しております。また看護協会の研修で多くの刺激を受け背中を押されました。看護協会が継続教育の拠点としてますます発展されますよう心から祈念しております。



令和7年度 職能集会

6月21日(土) 総会後に開催!

助産師

神奈川県助産師会会长の岡本登美子氏を講師にお招きし、「地域における母子の切れ目ない支援体制について」というテーマでご講演いただきました。ウパウパハウス岡本助産院、保育園、産後ケア、訪問看護などの事業を経営し、包括的な母子ケアを実践されている先生のお話は、有言実行し続けている力強さと説得力があり、助産師の力を再認識する機会となりました。

(記:西田助産師職能委員)



保健師の
しゃべりの場!

北田純代氏による講演
「日本看護協会の一員として」



保健師

職能集会では、令和6年度の活動報告の後に、日本看護協会職能委員の北田氏から講演をいただきました。

看護協会の活動や、保健師職能委員の取り組みを知ることができました。

講演後の交流会では、各職場での悩み事の共有や、業務を効率的に行うテクニックの伝授が行われ、顔の見える関係性を築くことができました。

(記:徳田保健師職能委員)



看護師 I・II

「地域へつなぐ病院からはじめるACP」と題し東京女子医科大学病院家族支援専門看護師 藤井淳子氏の基調講演後、病院・訪問・介護施設看護師の立場から情報提供がありました。患者・家族の思いを聴いたうえで個々にあった意思決定の支援を行い、

日々変化していく気持ちをそれぞれの立場でつないでいく事の大切さを学ぶ機会となりました。

(記:福沢看護師I職能委員)



ナースセンター だより

No.128



ナースセンターの紹介

青森県ナースセンターは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、青森県知事の指定を受けて青森県看護協会が運営しています。ナースセンターでは次の5つの事業をとおして、看護職の確保、定着、復職支援に取り組んでいます。



無料職業紹介事業

青森県ナースセンターは厚生労働大臣の認可を受けた、看護職のための**無料職業紹介所**です。

経験豊かな看護職が、相談者の皆様と同じ目線で、仕事の悩みや不安に寄り添います。守秘義務がありますので、安心してご利用ください。

* 令和6年11月～看護補助者の就業支援も開始しました。

看護協会の会員・非会員に
関係なくご利用になれます。
お気軽にご相談ください!!

主な相談内容

- 看護職の就業、転職に関する相談
- 看護職を募集する施設の求人相談
- お仕事の悩み
- ナースセンター登録に関すること

看護のお仕事移動相談 in ハローワーク

お住まいの地域の身近なハローワーク（県内6カ所）で皆さんのご相談に応じています。

ハローワーク八戸

7/9, 8/6, 9/10, 10/8, 11/12, 12/10, 1/14, 2/4, 3/11
(第2水曜日) 13時30分～16時迄

弘前就労支援センター（ヒロロ）

7/14, 8/18, 9/8, 10/20, 11/17, 12/15, 1/19, 2/16, 3/16
(第3水曜日) 13時～16時迄

ハローワークむつ

7/9, 8/6, 9/10, 10/8, 11/12, 12/10, 1/14, 2/4, 3/11
(第2水曜日) 13時～16時迄

ハローワーク五所川原

7/30, 8/27, 9/24, 10/22, 11/26, 12/24, 1/28, 2/25, 3/25
(第4水曜日) 9時～11時30分迄

ハローワーク三沢

7/14, 8/18, 9/8, 10/20, 11/17, 12/15, 1/19, 2/16, 3/16
(第3水曜日) 13時～16時迄

ハローワーク青森

7/28, 8/18, 9/22, 10/20, 11/17, 12/15, 1/19, 2/16, 3/16
(第3水曜日) 9時～11時30分迄

就業までの流れ

Step 1 eナースセンター登録

プロフィール作成後、働きたい条件等を入力し求人票作成してください。

Step 2 相談・求人検索・見学

相談員が多様な働き方やキャリアを支援。求人票をもとに情報提供や、施設見学の日程も調整できます。

Step 3 応募

eナースセンターからご自身でシステム応募か、ナースセンターが代行応募します。その後は求人施設からの連絡を待ち、面接日を日程調整してください。

Step 4 面接

労働条件を十分に確認してください。

Step 5 就業

採否通知を受け取ります。

※就業にあたり労働条件通知書等の書面を確認し契約を締結してください。

集まれ！復職支援研修

＼採血・血管確保・筋肉注射の実技／

八戸市	青森市
開催日時 10/29(水)13:30~15:30	開催日時 12/2(火)10:00~12:00
ユートリー 5F 視聴覚室	リンクステーションホール青森 4F 小会議室(1)
定員:10名	定員:10名
申込期間:10/1~10/20	申込期間:11/1~11/20

お申込み

研修申し込みサイト manaable
<http://egao-park.manaable.com>

地域に必要な看護職確保推進事業

青森県看護協会地域応援看護職「青森ともナース」

応援看護職生の声
成田 久美子
(60歳) さん

急性期病院を退職後、
応援看護師に登録し活躍しています!



令和5年に国保大間病院で応援看護師として3ヶ月働きましたが、今回は体制や地域の事情など異なるむつリハビリテーション病院で、いろいろ経験できやりがいを感じ、看護だけでなく社会勉強にもなりました。また、直ぐ応援に駆けつけてくれるなど、スタッフの方がとても親切で、気持ちよく働くことが出来ました。何より、職場の皆さんのお役に立てたことが嬉しいです。住居や生活の部分でも沢山支援していただけ大変ありがとうございました。

むつリハビリテーション病院さんは、労働環境改善だけではなく、看護職が不足する状況の中で、工夫をしながら夜勤体制を維持し、地域の患者さんの医療や生活を守るために頑張っていると実感しました。この応援看護師制度がもっと充実できれば良いと思います。

令和7年度も下北地域・西北五地域での応援を希望する 医療機関と応援看護職を募集しています!!

急激な少子高齢化や人口減少の中、青森県でも地域偏在がさらに進んでいます。現在むつリハビリテーション病院で募集中です。人材不足で困っている対象圏域の施設の管理者様、また、今までの経験を活かし応援看護師として活躍してみたい方、応募をお待ちしています！

看護補助者の 無料職業紹介

青森県ナースセンターでは、ハローワークと連携し、病院等で働く医療チームの一員としての看護補助者の就業支援をしています。

ハローワークで看護補助者のお仕事をPRし、希望する方には業務内容について、オンデマンド研修を提供しています。

* 詳細は
ホームページを
ご覧ください。



令和6年度
実績

応援要請施設 むつリハビリテーション病院
応援看護職 青森ともナースに登録中の1名
の看護職が3ヶ月短期就労

むつリハビリテーション病院看護部長 白濱 里美 さん より一言

むつ湾と釜臥山を眺めることができる閑静な場所にある、療養型80床の下北唯一の慢性期病院です。病棟勤務看護職18名の当院に、今年1月から3月まで、応援をいただきました。少人数で、施設基準維持のための人材確保と、有給休暇5日取得が課題となっていた年度末、正に救世主となり、大変助かりました。初めて応援看護師を迎えたが、自然にスタッフに溶け込み、経験値に基づいた業務内容は、以前から一緒に仕事をしてきた仲間のようでした。おかげさまで、施設基準は余裕でクリアし、スタッフ全員が有給休暇を取得することができました。今後も活用し、地域医療に貢献していきたいです。

この制度が定着し、地元で補完出来るまでに登録者が増えることを期待しています。



詳しくは
ホームページを
ご覧ください





訪問看護の人材確保への取り組み

2040年には在宅療養者数が過去最大になると予測され、訪問看護の提供体制強化は喫緊の課題です。そこで今回は、当センターの重要な目的の一つである「人材確保」への取り組みについて紹介します。

01 「青森県訪問看護ステーション実態調査」から見えてきた人材確保への課題

当センターが実施した「青森県訪問看護ステーション実態調査」では、看護職員5人未満の小規模事業所が全体の6割を占め、看護職員が不足している事業所は5割に上りました。小規模事業所では、急な欠員が訪問看護の提供に支障をきたす可能性があり、人材確保は地域住民の在宅療養を支える上で重要な課題と言えます。

さらに、訪問看護師の退職理由では、家庭の都合に加え、単独訪問の責任や車の運転負担といった訪問看護特有の要因がありました。利用者の生活の場での臨床判断には特有の難しさがあり、病院などの医療現場で経験を持つ看護師であっても新任期は単独独訪への不安が大きいため、継続的な育成支援が不可欠と言えます。

また、青森県では冬期の移動困難も人材確保の課題です。冬期は、路面凍結によるスリップの危険、吹雪による視界不良、豪雪による駐車場確保困難など、過酷な環境下での移動が強いられます。安全な訪問のために無理のない訪問計画や、豪雪時等は行政との連携はもとより、地域全体での協力体制を得ることが求められます。

02 センターの人材確保への取り組み

このような現状を踏まえ、当センターでは、訪問看護の人材確保に向けて「訪問看護体験型研修」「人材出向支援」「新卒・新人訪問看護師の採用および育成支援」の3つの取り組みを行っています。

訪問看護体験型研修

この研修は、潜在看護師やブランチナースへの就業を促進するとともに、参加者に訪問看護の役割や、在宅療養生活の実際を知っていただき、日々の看護にも役立てていただくことを目的としています。センター開設後の2年間で、延べ113名の方にご参加いただき、そのうち3名が訪問看護師として就業されました。参加者からは、「利用者さん一人ひとりの生活に寄り添った医療を提供できるので、新たなやりがいを感じた」や、「就業に関して相談ができる、漠然とした不安を払拭できた」といった感想が寄せられています。この研修は、将来のキャリアパスの一つとして訪問看護を検討いただく機会にもなっています。

人材出向支援

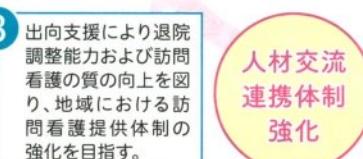
この取り組みは、病院に勤務する看護職員が一定期間、訪問看護事業所に出向し、訪問看護師と共に訪問看護を行うものです。これにより、病院と訪問看護ステーション間の連携強化を図ることを目的としています。これまでに、八戸平和病院、八戸市立市民病院、おいらせ病院、黒石病院といった地域の基幹病院が、それぞれの近隣の訪問看護事業所へ看護師を出

向させ、様々な成果を上げています。具体的な例としては、外来通院中の患者さんの自宅を病院看護師と訪問看護師が共に訪問したこと、「家の生活状況を直接把握でき、通院が患者さんの心身の負担になっていることを理解し、よりスムーズに訪問診療へ切り替えることができた」や、「病院看護師と訪問看護師が顔の見える関係を築けたことで、患者さんの状態変化について相互に相談しやすくなり、早期の対応が可能になった」といった報告があります。このように、人材出向支援による病院と訪問看護ステーションの交流は、双方の看護の質の向上に繋がり、訪問看護師がより活動しやすい環境を整備することで、結果的に訪問看護人材の確保・定着に繋がっていくものと考えています。

- 1 病院と訪問看護事業所が出向連携協定を結び、病院看護師が訪問看護事業所へ出向する。



- 3 出向支援により退院調整能力および訪問看護の質の向上を図り、地域における訪問看護提供体制の強化を目指す。



- 2 病院看護師と訪問看護師が共に利用者宅に出向いて訪問看護を提供する。

新卒・新人訪問看護師の採用および育成支援

青森県内においても、新卒訪問看護師が存在しており、その成長と活躍は目覚ましいものがあります。一方で、実態調査から、令和5年度は新卒者5名のうち3名が、令和6年度は3名のうち1名が退職しているという現状があります。また、当協会が作成した「新卒・新人訪問看護師育成プログラム」を活用している事業所は全体の2割に留まっています。このような状況を踏まえ、今年度から「訪問看護の基礎講座」を開講し、新卒・新人訪問看護師の育成を支援することにいたしました。本講座では、訪問看護の基礎知識に関するeラーニングに加え、演習や実習などを予定しています。新卒・新人訪問看護師という同じ立場の参加者が集い、学び合う機会を通じて、異なる事業所に勤める新任期の訪問看護師間のネットワークが形成され、学習目標の達成を支援できると考えています。

最後に、日頃より当センターの取り組みへのご理解ご協力いただき、ありがとうございます。引き続き、青森県の訪問看護の未来を担う人材育成にご協力いただけますと幸いです。

記：青森県訪問看護総合支援センター センター長
其田 貴美枝

遠慮なくご相談ください

メール相談

24時間受付

青森県訪問看護総合支援センターホームページ
✉ houmon-soudan@egao-park.net



プリセプター・プリセプティの声

プリセプティ

地域包括ケア病棟
(内科チーム)

佐藤 葵さん



東奥学園高等学校 看護専攻科卒
1年目看護師



入浴介助中



私は公立野辺地病院に勤務し3年目となり、プリセプターを務めることになりました。まだわからないことも多く、不安になることもありますが先輩方に助けていただきながら指導に励んでいます。自分の業務を行いながらプリセプティの指導につくため、多重課題に追われる日々ですが、プリセプティが徐々に出来ることが増える姿を近くで見ることができ、プリセプターとして、やりがいを感じています。この経験を活かし、自分自身も成長していくように頑張ります。

プリセプター

地域包括ケア病棟
(内科チーム)

中村 有絵さん



青森中央学院大学卒
3年目看護師

推薦委員会からのお知らせ

改選役員名と人数

定款細則第6条に基づいて令和8年度の役員を次のとおり改選します。

役員

- ① 会長 定数1人
- ② 理事(助産師職能) 定数1人
- ③ 理事(看護師職能Ⅰ) 定数1人
- ④ 地区理事(東青・中弘南黒・下北) 定数3人
- ⑤ 監事 定数1人

問合せ

青森県看護協会 総務課

電話：017-723-2857

推薦基準

- (1) 青森県看護協会の目的に沿って組織を強化発展させるよう実践できる人
- (2) 本会の実情をよく知り、定められた会議に出席し、積極的に任務を遂行できる人

※ 推薦していただいた方々について
は推薦委員会で協議の上、候補者として推薦させていただきます。

令和8年度改選役員の推薦候補者を募集します。
令和7年9月30日(火)までに、推薦委員長まで届け出してください。

推薦方法

推薦を行う場合は、被推薦者の承諾を得てから、所定の用紙に記入の上、推薦委員長に届け出してください。

※届出用紙は総務課へお問い合わせください。

届出先

〒030-0822

青森市中央三丁目20-30

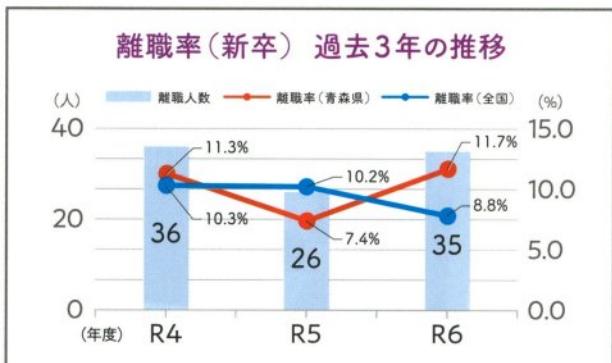
県民福祉プラザ3階

公益社団法人青森県看護協会

推薦委員会 委員長 宛(親展)

事業課

今年度も実地指導者・教育担当者研修開催! 新人看護職員等離職防止 及び定着促進事業



※青森県ナースセンターによる
令和6年度「看護職員の需要及び離職状況」結果より

オール青森で
新人さんを育てよう!



申込▶研修申込サイト manaable から
申込期間▶令和7年7月1日～20日
定員▶50名

令和7年3月31日公表された日本看護協会「2024年度病院看護実態調査」結果では、青森県の新人看護職員離職率が、全国ワースト4位という結果となりました。

令和2年度から実施してきた本事業は、令和6年度より対象を実地指導者・教育担当者の育成に重点を置き研修を企画し実施しました。

5日間の研修には26病院より47名の指導者が参加しましたが、研修初日に約7割が新人研修ガイドラインを知らなかったことが分かりました。そのため、研修ではガイドラインをしっかり読み込み理解を深め、グループワークでは、他施設の教育体制を共有し、自施設の現状から課題を抽出し、最終日にはアクションプランを発表できました。アンケートでは、自身の役割を理解する、自部署の課題を言葉にして仲間に伝える、協力を求める、何より指導者自身が新人教育に関する知識を習得することが重要と捉えていました。また、ガイドラインを読み解くことの必要性に気付き、それを活用して改善に繋げる経験が得られたことは研修の大きな収穫であったと思います。

多くの看護職に受講していただきガイドラインを理解し、活用できる実地指導者・教育担当者を育成していくことが必要です。今年度も実地指導者・教育担当者研修を実施しますので多くの施設からご参加をお待ちしております。

看護補助者レベルアップ研修会

5月30日(金)リンクステーションホール青森にて開催

県内の病院から74名の看護補助者さんに参加していただきました。当協会の川野会長、青森明の星短期大学教授の森田要氏からの講義のあと、フリートークを行いました。どこの職場も、看護職同様、看護補助者も不足していることを実感し、他の病院での業務内容や働き方の工夫についてなど、活発に意見交換をしていました。ご参加いただきありがとうございました。



各病院、看護補助者
同士の意見交換

森田 要さん



医療安全担当者研修会

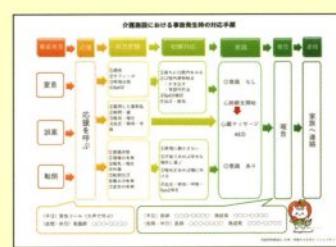
6月6日(金)アスパムにて開催

午前は、群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 部長 田中和美先生から「患者の権利と安全確保」についてオンラインで講義していただき、午後は、前協会長であり、日本医療機能評価機構病院機能評価事業評価調査者でもある桝谷京子氏から、サーベイラーの視点からみた「医療の質向上の推進に向けて」講義していただきました。患者参加型医療におけるインフォームドコンセントの重要性、看護管理における医療安全の重要性など、とても参考になるお話を聞くことができました。



医療安全担当者
研修会の様子

「患者の権利と安全確保」
オンライン講義



介護施設における
事故発生時の対応手順
フローチャートを
作成しました。
p.12 もご覧ください。

災害支援ナース派遣調整に関するお知らせ

令和6(2024)年4月1日より、改正医療法・改正感染症法に基づき、災害時の応援派遣に加え、新興感染症発生時の応援派遣にも「災害支援ナース」が対応することになっております。災害支援ナースの養成・登録は厚生労働省医政局が実施しており、令和6年度は青森県が派遣調整をしていましたが、**令和7年度から、当協会が青森県から委託され、災害時の災害支援ナース派遣調整を行うことになりました。**

また、災害支援ナースのフォローアップ研修も青森県からの委託を受け、10月3日(金)に開催します。

詳細はmanaaableでご確認ください。



教育研修課

新人研修はこれまで、「メンタルヘルス」や「社会人基礎力」、「WRAP」「睡眠セミナー」など様々な研修を実施してきましたが、今年度は「バーンアウトを防ぐための援助希求力を養う」をテーマに弘前大学大学院保健学研究科心理支援科領域 准教授の大里絢子先生からご講義いただきました。

ヘルプの求め方・話しかけ方、相談する人の見つけ方・伝え方まで丁寧にお話いただき、また、具体的な場面設定や個人ワークを交えながら自身が行っていたコミュニケーションや援助希求について振り返るなど、充実した2時間でした。援助希求力とは、「他者に助けを求めたり、相談してみようと思うこと、実行すること」援助を求める人、求められる人、双方の考え方や対応を知ることで、今より少し気持ちが軽くなれるかも…かもしれません。



超人ナイチングール

トピックス研修

令和7年8月9日開催



政治学者で『超人ナイチングール』の著者 栗原先生をお招し実施するトピックス研修。皆様の中には、昨年開催された【第28回日本管理学会学術集会】の基調講演で先生のお話を聞いた方もいらっしゃると思います。

『近代看護の母』とよばれるナイチングールを栗原先生の独自の視点と表現で私たちの知らないナイチングール!!?を知ることができるかもしれません。

忙しい毎日から少し解放され、栗原先生のお話を聞いてみませんか。
受講料は会員・非会員とも3,300円(税込)です。詳細はmanableで!!

今年も青森県委託事業として実施する研修が次々とスタートしています！

実習指導者講習会に続き、「病床からつなぐ地域包括ケア看護実践者育成研修会」(9月開講)、「認知症対応力向上研修」(11/12~14)の募集が始まりますのでmanable、ホームページ等のチェックをお忘れなく！

オンライン研修、e ラーニングを活用した研修では受講の際、受講者本人のマナブル利用登録が必須です！

e ラーニングの視聴に関するご案内は受講者本人あてにメールで送信されますので確実にメール受信できるように事前にメール設定のご確認をお願いします。

特にe ラーニングは、受講が修了しないと演習に参加できない、または研修自体が修了できないことがあります！受講期間を必ずご確認ください！また、看護部門の長のみなさまには視聴環境の整備、受講時間の確保等ご協力よろしくお願ひいたします。

eラーニング の視聴は 計画的に！



今年度から会員限定で、対象の有料研修を3コース以上受講された方に
QUOカード(1000円)をプレゼント♪ 詳細は看護協会HPをご参照ください。



認定 看護管理者 教育課程

新メンバーから一言

4月から、認定看護管理者教育課程専任教員となりました木下千秋です。受講生の皆さんに、充実した学習ができるようにサポートしていきたいと思います。よろしくお願いします。

令和7年度のファーストレベルは、5月14日(水)に開講し、6月26日(木)に無事に終了となり、全員そろって閉講式を迎えることができました。

この後、8月19日(火)からは18名の受講者を迎え、サードレベルを開講します。閉講は10月17日(金)でインターバルを含め約2カ月間となります。

暑い中のスタートとなります。皆さんに会えることを楽しみにしています。



写真撮影へGO



撮影後のオフショット

重要

認定看護管理者教育課程研修変更について

日本看護協会では、認定看護管理者教育課程の見直しを行っており、下記の表にあるように、**2028年度**より「新たなCNA教育課程」へ変更になる予定です。

青森県看護協会では、**2026年度**は、現行のファーストレベル、セカンドレベルを実施する予定です。

その後は、日本看護協会の動向を見ながら、研修方法が変更になりますが、適宜皆さんにお知らせしていきます。

【日本看護協会スケジュール(予定)】

	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
現行認定看護管理者教育過程と看護管理研修(附加研修を含む)及び新たな認定看護管理者教育課程	現行の認定看護管理者教育過程				新たなCNA教育過程		
		付加研修				看護管理研修	

* 詳細は、日本看護協会のホームページで確認できます。



新人看護職員のための 心の相談窓口

今年度から対象を指導者にも拡大しました。

専門の相談員(公認心理師・臨床心理士)が対応し、個人情報は厳守します。

対象 青森県在住で看護の仕事に就いて3年未満の新人看護職員と
新人を指導する立場にある看護職

相談方法 ①メール相談: 24時間受付 soudan_nursing@aomorisccp.jp
②必要に応じオンライン相談、あるいは対面相談

ナースセンターのホームページにメンタルヘルスのコラムを掲載!! 月2回更新中!



看護の日・看護週間事業

今年度も実施しました。看護の出張教室



昨年度、大好評だった保育園の看護の出張教室を今年度も実施しました。

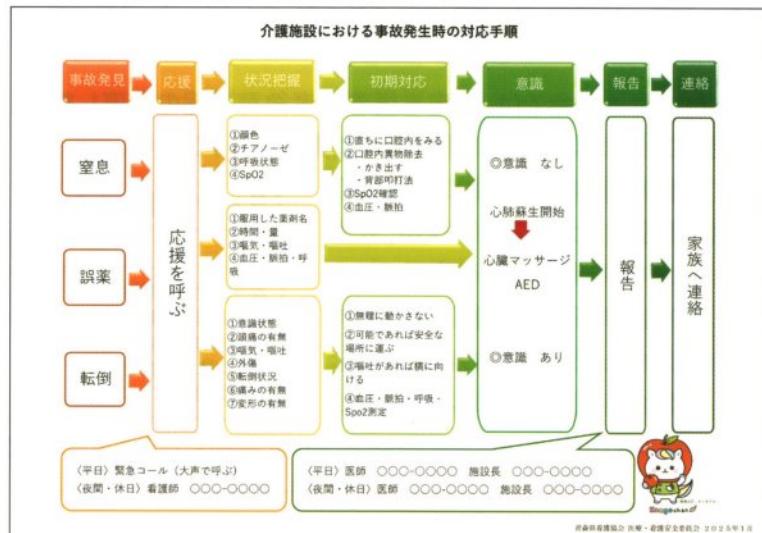
申し込み多数のため、昨年度お断りした8カ所の保育園に、1年遅れでお邪魔させていただきました。この事業ではこれまで約900名の園児たちに看護体験を通じて看護職をPRしてきました。大きくなったら是非看護職になってくれることを期待しています。

ご協力いただいた保育園、スタッフとして協力していただいた各支部の皆様、本当にありがとうございました!!



医療・看護安全委員会からのお知らせ

当委員会で令和4年に「介護施設における介護事故予防に関するアンケート」を実施しましたが、介護施設における医療安全対策において、多岐にわたる課題が見いだされました。今回、医療・介護における事故発生時に適切な対応ができるよう、フローチャートを作成しましたので是非、ご活用ください。



思春期応援隊募集中!

一緒に地域貢献しませんか?



県内の中学校・高等学校へ出向き『看護の出前授業』してみませんか?

命の大切さ・思春期の心と体・看護職の仕事など、学校が希望するテーマに応じて講義や簡単な看護技術体験等行いながら、看護職の立場から将来を担う子供たちに命の教育・性の教育を行い地域保健に貢献しております。 *R7年度は、モデル的に、10カ所の保育園を対象に「からだとこころの健康教室」を実施しております。

出前授業をしていただける看護職の方、
隊員登録をお待ちしております。

問い合わせ先

青森県看護協会 事業課まで TEL 017-723-7523

研修等開催のお知らせ

研修一覧検索&
研修申込サイト
maaable

研修申し込みサイト
“maaable (マナブル)”
からお手続きください



8月

生涯学習を支援する面接方法

講義

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 参集

訪問看護実践研修ステップ1

講義

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 訪看センター 形式 オンライン

保健師の魅力発信事業

保健師のお仕事紹介セミナー、座談会他

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 総務課 形式 参集

トピックス研修

『超人ナイチンゲール』

講義

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥3,300
担当課 教育 形式 参集

助産師活用推進事業： 超音波検査技術研修

講義・演習

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 事業課 形式 参集

卒後2~3年目のための メンバーシップ

講義・グループワーク

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 参集

医療的ケア児支援看護師 技術研修【青森】

講義・演習

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 事業課 形式 参集

フィジカルアセスメント

講義

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 オンライン

「地域での看取りを考える」 研修会

情報提供・グループワーク

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 総務課 形式 参集

9月

発達障害を正しく知ろう(事例編)

講義

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 オンライン

楽しく学ぼう! 検査データ解釈の基礎

講義

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 オンライン

助産師活用推進事業： 新人助産師情報交換会

講義・交流会

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 事業課 形式 参集

訪問看護実践研修ステップ2

講義

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 訪看センター 形式 参集

看護実践の見える記録

講義

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 オンライン

医療的ケア児支援看護師 技術研修【弘前】

講義・演習

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 事業課 形式 参集

事例研究のまとめ方 ～学会に投稿しよう～

講義

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 参集

チームワーキング～リーダーと してのスキルアップのヒント～

講義・グループワーク

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 参集

ICTを活用した未来型看護

講義

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 オンライン

10月

フトケア～高齢者の足を見る～

講義・演習

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 参集

災害支援ナース フォローアップ研修

講義・演習

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 事業課 形式 参集

保育施設での感染対策研修会

【青森】

講義・演習
受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 事業課 形式 参集

助産師活用推進事業： 胎児心拍数陣痛図判読研修

講義

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 事業課 形式 参集

看護職の連携のための圈域内 研修会【四職能・上十三支部合同】

講演・事例検討

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 総務課 形式 参集

救急・急変時の看護

講義

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 オンライン

医療的ケア児支援看護師 技術研修【八戸】

講義・演習

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 事業課 形式 参集

入退院支援とあなたの知らない 介護の世界

講義・グループワーク

受講料 ¥3,300 受講料(非会員) ¥11,000
担当課 教育 形式 オンライン

保育施設での感染対策研修会 【八戸】

講義・演習

受講料 無料 受講料(非会員) 無料
担当課 事業課 形式 参集

**会員限定
新企画!**

リモート研修 今年度は初級編です

現場で使える英会話セミナー

無料

講師は
**小笠原メリッサ
先生です**
(青森県立保健大学)

ライブ講義
1回目予定

令和7年
9/16 火
14:00~15:00

ライブ講義 9月、10月、11月の全3回

オンデマンド配信 ライブ講義後、次回開催日前日まで

ライブ講義は、受講者同士セッションで練習できるよ!
簡単な日常会話を楽しもう!
英語で患者さんに症状をたずねてみよう!

災害支援ナースの役割

東青支部

記：第2副支部長 大川 美津穂

6月7日(土)東青支部集会と第1回研修会が開催されました。研修会は、青森県立つくしが丘病院 災害支援ナースである山田佳尚氏を講師に、災害支援ナースの役割や活動報告等を交えて講義していただきました。

近年、災害支援ナースの需要と関心が高まっており、研修会には66名と多くの方が参加されました。講義では制度の変更点や要件など、十分に周知されていなかった部分を知ることができました。今後も会員の皆さんのが興味を持てるテーマを選考し、研修会を開催していきたいと思います。



災害派遣医療チームの活動

西北五支部

記：幹事 花田 和江

5月17日(土)「災害派遣医療チーム(DMAT)の活動を知ろう」をテーマに、研修会を開催しました。つがる総合病院DMAT隊員・災害支援ナースの三上宏志さんを講師に迎え、災害時における知識・看護師の役割についてご講演頂きました。研修には54名の参加があり災害看護に対する関心の高さが伺えました。

今後予測される災害や講師の実体験をもとにした具体的なお話を聞き、災害時の看護の役割について学ぶことができました。自施設や個人としてできることは何かなど、災害体制の充実強化について考える機会となりました。



発達障害かも?と感じる スタッフへの対応・指導方法について

中弘南黒支部

記：幹事 竹ヶ原 祐太

6月14日(土)ヒロコ市民文化交流館ホールで、弘前大学医学部附属病院に勤務される坂本由唯先生による、発達障害に関する学習会が開催されました。坂本先生の講演は、昨年度の『大人の発達障害について』に続き、第2弾となります。今回の講演では、発達障害の特性の理解から、実例をもとにした対処法など、とてもわかりやすく、多くの学びを得る機会となりました。

出席された皆様が今回の学びを活かし、障害特性を持っている方と共生して、より良い看護が提供できることを心よりお祈りいたします。



認知症の方へのケアを考える

下北支部 記：支部長 小野 ひとみ

6月7日(土)第1回下北支部研修会が開催されました。

前回の研修会でのアンケート結果より、要望のあった認知症ケアをテーマに、むつ総合病院認知症看護認定看護師の橋本琢磨氏を講師に迎え、講義とグループワークを行いました。

20歳代から60歳代と各年代から、病院、訪問看護、施設などからまんべんなく参加があり、グループワークでは活発な意見交換がなされ、盛況に終わることができました。

今後も2040年を見据え、より質の高い看護が提供できるよう会員のニーズに即した研修会を企画していきたいと思います。

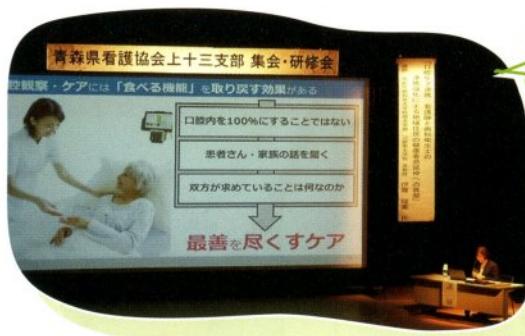
第1回下北支部
研修会の様子



食べられる幸せにつながる看護ケア

上十三支部 記：幹事 豊川 加奈子

5月24日(土)、支部集会終了後に看護研修会を開催しました。講師に弘前医療福祉大学短期大学部口腔衛生学科 伊藤瑠美氏をお招きし、「口腔ケア連携：看護師と歯科衛生士の連携強化による地域住民の健康寿命延伸への貢献」と題し、即実践できる口腔内の観察ポイントやケア方法を学びました。看護職の観察力や歯科医師・歯科衛生士との連携が、患者さんや市民の「食べたい物を食べられる幸せ」に繋がる大切なケアだと学びました。



上十三支部研修会
講演の様子



春の特別講演会

三八支部 記：記録係 三浦 美穂子 巴 真奈美

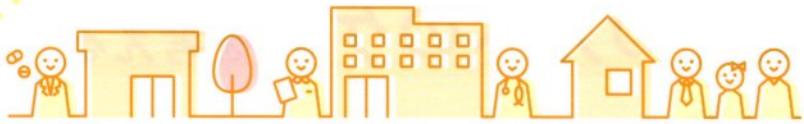
5月24日(土)、三八支部では、春の特別講演会を開催し、「続発性リンパ浮腫の病態とケア」をテーマに学びを深めました。講師には、十和田市立中央病院 認知症看護特定認定看護師・リンパ浮腫療法士の下山良子先生をお迎えし、リンパ浮腫の症状、観察のポイント、そしてセルフケアの重要性について、実践的かつ丁寧にご講演いただきました。

また、三八支部集会では青森県看護協会 前田常務理事より、今年度の重点事業についての説明がありました。三八支部としても県看護協会と連携しながら、地域に根ざした看護活動を推進してまいります。

前田理事と
三八支部新役員



こんにちは!
准看護師
理事の高橋です。
Part.3



今回は看護師職能委員会Ⅱについて取り上げます。青森県看護協会には各職能委員会がありますが、准看護師理事として昨年度、看護師職能委員会Ⅱの委員に就任し1年経過しました。この1年間は委員の皆様についていくことで精一杯でしたが、多くのことを学ばせていただきました。看護師職能委員会Ⅱの活動目的と目標、それに伴う課題に対して委員の皆様と共に正面から向き合い活動につながる議論を重ねています。

その中で今年度は介護施設などで勤務されている准看護師の皆様との交流を持たせていただき意見交換ができるべと考えております。これまでお伝えしてきたネットワーク構築は課題も多く、活動としては未だ暗中模索の状態ではございますが、意見交換、情報共有のため必要であるとの思いは変わりません。皆様方からご意見いただきながら構築を目指します。

引き続きよろしくお願ひいたします。

記:准看護師理事 高橋 善弘(むつりハビリテーション病院)

青森県看護協会で
インスタグラム始めました!

フォローしてね!



AOMORI.KANGO

ニプロ 医療機器データ通信サポートシステム
HN-LINE
Hospital Network Line

携帯情報端末
データ連携
電子カルテ

血糖管理
バイタル管理
輸液管理
連続見守り

血糖
SpO₂ 呼吸数
体温
血圧 脈拍
輸液ポンプ シリンジポンプ
心拍心電波形

この広告に関してのお問い合わせ先 資料請求先 ニプロ株式会社 大阪府摂津市千里丘新町3番26号
2023年5月作成

2025年10月入学生募集中
※青森学習センターは、ヒロ口(4階)に移転!
仕事をしながらマイペースで学べます!
・「大卒」と「看護学の学位」を取得しませんか?
・「看護師の特定行為研修」共通科目開講中!!!
放送大学は正規の通信制大学です。
入学は、4月と10月の年2回。看護師・准看護師のみなさんのキャリアアップを応援します。
まずは、資料をご請求ください。放送大学

放送大学

青森学習センター 八戸サテライトスペース
TEL 0172-38-0500 TEL 0178-70-1663

令和7年度会員数

令和7年7月1日現在

7,787名

(昨年7月比 - 277名)

保健師

198名

(昨年7月比 - 1名)

助産師

308名

(昨年7月比 - 3名)

看護師

7,034名

(昨年7月比 - 260名)

准看護師

247名

(昨年7月比 - 13名)

編集後記

今年度から新たにプリセプターとプリセプティーの声を取材しています。

今後も、例えば男性看護師の育休取得状況や、管理者、認定・専門看護師の声を届けたいと思います。

広報出版委員会